元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐　勉　　2024年02月13日　第1154号「週刊五十嵐レポート」

10年先

2月10日付日経新聞、「都内企業の社長、平均年齢62.96歳に上昇」という記事。東京商工リサーチがまとめた東京都内の企業の社長の年齢調査によると、2023年の平均年齢は62.96歳で前年から0.19上昇。

年齢別の割合をみると、70代以上が32.9％で最も多く、次いで50代（25.3％）、60代（25.2％）、40代（13.1％）、30代以下（3.5％）の順。後継者の不在や業績不振などで世代交代が進んでいない。企業業績は社長が高齢になるほど鈍化する傾向にあるという。社長の年齢が30歳以下の企業は67.5％が直近の決算で増収。一方、70歳以上の企業は42.7％にとどまった。

経営計画の勉強会では、「将来計画」がある。10年先はどうか？現在の経済状況下で10年先を見通すことは難しい。しかし10年後は10歳、年を取ることは確実である。

ある社長は、「10年後は67、8歳になる。経営の一線に退いているかもしれない。今は、同じことを考えている同志を集めて、次の世代に引き継いでいかなければいけないと考える。その前に、自分がパイオニアとして事業の基盤を固めていって次へつないでいきたい」。

またある社長は、「工場はまだ世代交代ができていない。私も10年後は67歳になる。次世代を決めていくのは重要な問題である。銀行からも『後継者はいるのか？』との質問に答えられていない。一つの不安要素と思われてしまう」。

若手を順次採用しないと、10年後、会社は確実に10歳高齢化する。帝国データバンクの調べでは、東京都内で23年の休廃業・解散は13,376件（前年比13.5％増）。24年以降、企業の「優勝劣敗」、「新陳代謝」の流れが進み、倒産・廃業がさらに増加する可能性がある。

10先を見据えて、社内の新陳代謝を進める。若手社員の採用→高賃金・良好な職場環境→高収益企業→強いものづくり・一番づくり（高付加価値・高労働生産性・仕組みづくり）。生き残るには、小さな会社はニッチ・トップ。

ちょっと気になる出来事

2月5日YouTube「ヌガちゃんねる（江頭2:50登録者数425万）」を見ていた。ファミリマートとコラボしてポテトチップスを作って販売する話だった。江頭本人とスタッフ（ブリーフ団）の2種類を販売する計画。江頭氏はパンチの効いた担々麺のラー油味。ブリーフ団は黒コショウ・チーズ味。ファミリーマートからは、今回各々12食、合計24食販売。1ヶ月で完売すれば大成功、2週間で大大大成功。江頭氏は1週間で完売させると豪語。

一回目の試作品を食べた江頭氏は「全く辛くない。パンチがない」と不満を漏らす。ファミリーマートの担当者は、「これ以上辛いと子供が食べられない」と答える。すると、江頭氏は、「子供はやめましょう。辛くてうまいものが好きな人に絞りましょう」と。何回か試作品を食べても、江頭氏は納得しなかった。「個性がない。パンチがない」と繰り返した。8回目の試作品でようやく納得した。

2月6日からファミリーマートで販売した。雪の影響ですぐに店頭に出なかったが、7日水曜日にはほとんどの店舗で完売になった。

ファミリーマートは大衆受けするのを考えていた。しかし江頭氏は「個性」「差別化」を考えていた。戦略の違いを垣間見れた。

一口メモ
知識

継続は力なり

終日（しゅうじつ）乾乾（けんけん）すとは、道を反復するなり。

「継続は力なり」で、
本物の力をつけるには同じ事を繰り返し繰り返し続けていく必要がある。

「終日乾乾」とは、日々邁進し、手応えをつかみ、
充実感をともなって実践していくこと。これを日々繰り返し、
反復継続することで物事の道が大きく開けていくことになる。

「易経一日一言」（致知出版/竹村亜希子）より

●「戦略社長塾東京」小岩校　毎週日曜日・水曜日　午前10時～12時
●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校　開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス　〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703　Fax03-3659-7077　info@igarashireport.com